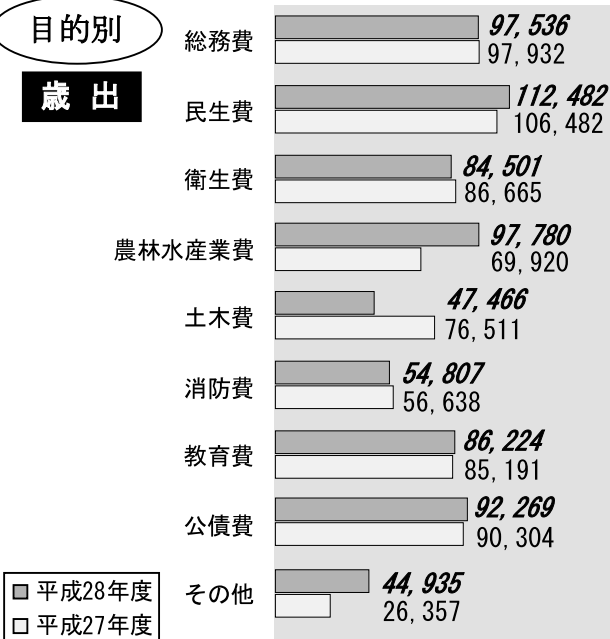


平成28年度 わが村 の

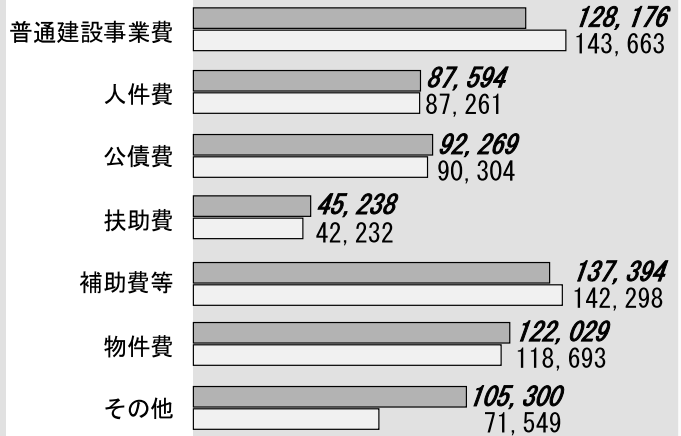
目的別

歳出

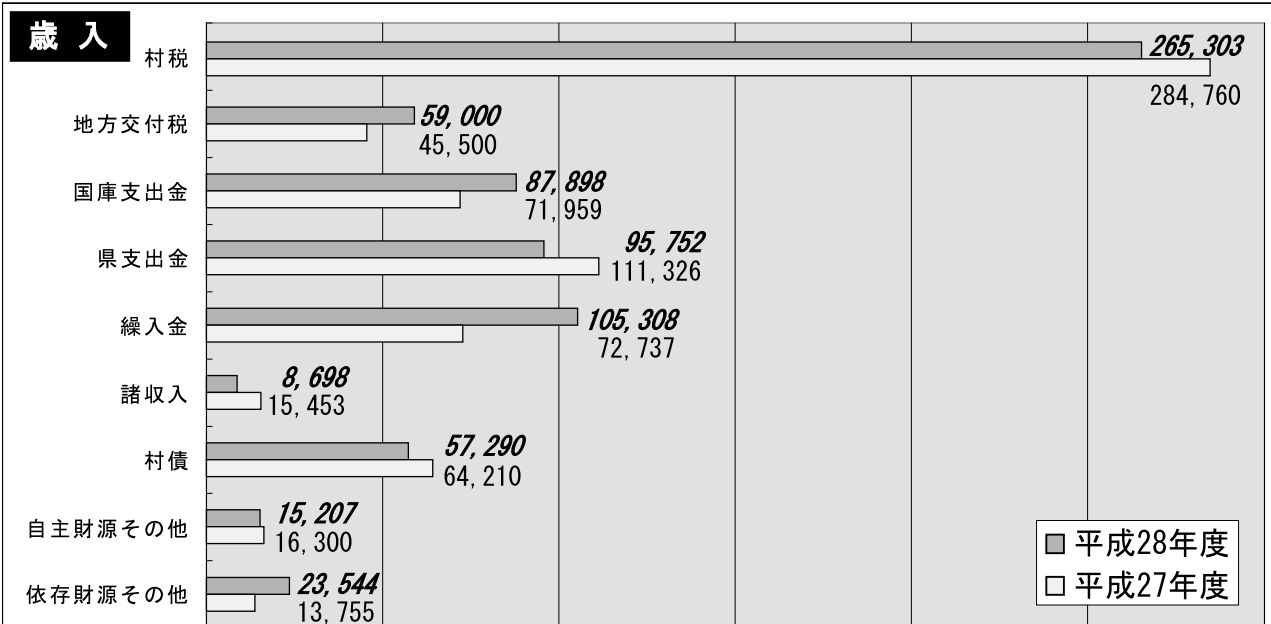


教育費、土木費等の目的別経費を人件費、物件費等の性質別経費に分類し直すとこのようになります。

(単位：万円)



歳入



2月29日から3月10日まで、11日間の会期日程で開催された、平成28年2月東通村議会第1回定例会で、平成28年度一般会計予算及び各特別会計予算が議決されました。

一般会計は、歳入歳出それぞれ71億8,000万円、前年度との比較では2億2,000万円(3.2%)の増となりました。

歳入は、東北電力 東通原子力発電所に伴う固定資産税が減収となったことにより、村税収入が26億5,303万円(37.0%)となり、自主財源の占める割合が55.0%となっております。

歳出は、自主財源の減収等の影響を受けながらも、「みんなで創ろう住みよい村づくり」の理念のもと、村政の重要施策について行政改革に努めながら取り組んでまいります。

義務的経費(人件費・扶助費・公債費)は、22億5,101万円(31.4%)、その他消費的経費(維持補修費、補助費、物件費、繰出金等)は、33億2,540万円(50.7%)、投資的経費は、南地区製氷センターをはじめとする水産振興事業、漁港整備、道路整備、消防施設整備、ICT教育関連備品整備等、12億8,186万円(17.9%)となっております。